

子どもたちが夢中になっている姿から

今年度、初の試みとして、「保育園に行ってみようWeek」を5日間の日程の中で行い、保護者の方に子どもたちの日常を見に来ていただきました。「おばけ屋敷見に来て！ファッションショー見に来て！」という子どもたちの熱い声に応え、お仕事の調整をして来ていただき、ありがとうございました。子どもたちは、お家の方に見てもらえることが、うれしくてたまらない様子でいつも以上の笑顔を見せていました。自分が夢中になっていること、楽しんでいることを伝えることができたり、見てもらえることは、子どもたちにとって喜びとなり、自信になったと思います。また、保育園の生活やあそびの中で、子どもたちがどんなことを学び、成長しているのかを保護者の方が実際に見て、感じていただける貴重な機会になりました。

現在、年長児は、ハロウィンをきっかけに始まった、「おばけ屋敷作り」が盛り上がっています。衣装作りをする時、どんな衣装にするのか、友だちと相談したり、おばけになって隠れるための場所作りを工夫したり、わくわくしながら活動しています。また、おばけ屋敷に来た人に、驚いてもらうにはどうしたらよいのかを考え、太鼓を鳴らしたり、声を出したりするタイミングなどを友だちと相談し、協力しながら進める姿が見られました。

また、年少、年中児は、園の着替え用の洋服、ワンピースやスカートに着替えて遊ぶことが、ブームとなり、そのうち、既製の洋服を着ることから自分たちが作った衣装を身につけて楽しむようになりました。さらに、衣装を作り、着るだけでは物足りなくなったのか、舞台の上でアイドルや

モデルになりきって表現することに夢中になっています。その姿を見ている周りの人にも、その楽しさが伝わり、拍手をしてもらったり、「すごいね」と誉めてもらうことで、子どもたちは満足感を味わうことができます。そのことが、次はこうしてみようという意欲につながっていきます。子どもたちは日々、このように同じあそびに夢中になり、繰り返し遊んだり、新しいあそびを発見しています。

今月の11日《土》に「こやうらっこ わくわく広場」《作品展》を開催します。子どもたちが「今」夢中になっていることや自分で考えたり試したりしながら取り組んだことや、どんなことをおもしろがっているのかに、目を向けてみてください。作品として形になったものもありますが、当日、お家の方と一緒に体験しながら形になっていくものもあります。子どもの姿を少し離れた場所から客観的に見ることで、成長を感じられたり、共に遊び、楽しさを共有しながら、子どもの行動やつぶやきの中から成長を感じることもあると思います。「何かができるようになった」ということも、うれしい成長ですが、子どもたちが興味のあることに粘り強く挑戦したり、うまくいかないことがあっても最後まで諦めないなど、その過程を子どもたちがどう乗り越えていくのかが、大切なポイントだと思います。

「こやうらっこ わくわく広場」では、自分の体験をもとに、子どもたちから「こうやって作るんだよ、こうするともっとおもしろいよ」など、まわりに説明してくれる主体性の育ちを見ていただく場面があると思います。当日は一緒に作ることや遊ぶ楽しさを感じたり、子どもの目線になって楽しんでもいただける思い出に残る一日となれば幸いです。

園長

うんどうかいごっこ
リラックスした子どもたちの
表情は最高!笑顔がいっぱい



さつま芋のつるのきんぴら



さつま芋
収穫、味わう、遊ぶを満喫!



ちっちゃい
お芋で
めりめり



ざくろ
食べれるよ 実をとるの
おもしろ〜い
とうもろこしみたい



土作り
グループ園の畑の粘土質の土をもらって
園庭の砂や糞を混ぜて作ったよ



お父さんたちの知恵と
力を合わせて



おそろい弁当の日

2歳～5歳までの子どもたちは「いこいの森」に出かけ、木の实や落ち葉を拾ったり虫と出会うって捕まえて観察したり、ゆったりとした時間を過ごしました。

給食の先生が作ってくれたおそろい弁当を青空の下で友だちと一緒に食べ、心もおなかも大満足でした。年に3回の「おそろい弁当の日」3月のおそろい弁当の日もお楽しみに・・・。

